

第4回 熊本都市道路ネットワーク検討会 ＜議事要旨＞

1. 今年度の事業進捗について
2. コロナ情勢下での交通状況
3. 将来像実現に向けた短期対策について
4. 議事のまとめ

短期施策を効果的に進めるため、今後も国県市で連携を図りつつ、着実に実行していく

（委員の主な意見）

長期対策の検討に関すること

- 新たな道路ネットワークに寄せられている期待感は高いので、スピード感を持って進めるためにも、今後も国県市の連携が重要
- 「熊本市中心市街地グランドデザイン2050」や「都市マスタープラン」といった既存計画との連携についても検討が必要
- 新広域道路交通計画は、広域道路に求められる機能や役割が示されたが、新型コロナウイルス感染症等の社会変化の可能性に備え柔軟な計画に留意が必要とされているため、今後も分析検討を進めるとともに、県域をこえるネットワークは隣接する県との調整も必要

短期的ハード施策に関すること

- 実行している対策とその効果をわかりやすく周知することが重要
- 短期施策で計画通りに効果が発現した箇所と、結果的に新たな課題が発生してしまう箇所もあるため、施策実行・効果検証のサイクルを回しながら取り組むことが重要
- 都市圏は全体的に道路の交通容量が不足しているので、長期対策による新たな道路ネットワークが必要不可欠であり、長期対策の計画を具体化するまでは、すぐできる対策を積み上げていくことが重要

短期的ソフト施策に関すること

- ウォーカーブル都市の推進と長期対策による新たな道路ネットワーク計画は相反するようになってしまいが、中心市街地のにぎわいには新たな道路ネットワークの整備は必要であり、道路が担う役割と関連性をしっかり整理することが重要